

軽可搬ポンプにおける消火栓用媒介金具等の貸与について  
～ 震災時における初期消火能力の向上のために～

本年 5 月に東京都が発表した、首都直下地震の被害想定によると、東京湾北部を震源とする地震では、練馬区全域で震度 6 弱の揺れが襲うとされています。この地震による火災の状況は、炎上出火件数が最大で 33 件、全焼棟数が早朝発生で約 1,400 棟、夕方発生で約 9,500 棟にのぼるとされています。消防力をはるかに上回る火災が同時多発的に発生することになります。

地震による火災被害の軽減の決め手は早期発見と小さな段階での初期消火にあります。それを実現するには区民防災組織や消防団、消防署隊が協働し、地域が一体となった活動体制を構築しておくことが重要です。

区では、防災会、市民消火隊に軽可搬ポンプを貸与していますが、消火用水としては防火水槽等の貯水槽に限られ、ポンプ性能からも貯水槽から遠方の火災には放水が出来ず、その能力を有効に活用できない状況がありました。今回、消火栓と軽可搬ポンプとを接続する媒介金具等を順次防災会等に貸与していくことで、消火栓からの水源も確保でき、地域の有効な消防力としてさらに効果を発揮することが可能と考えています。

説明会当日は、消火栓を使用しての軽可搬ポンプの操作方法や注意点を説明します。今年度は、まず消防署管轄ごとに実施される軽可搬ポンプ操法大会に出場する隊への貸与を予定しています。媒介金具の使用の仕方は、操法大会に向けた練習等の際に、消防署が指導を行います。